

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいセンター 菰田

作成日: 平成 30 年 7 月 5 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み	会議は2ヶ月毎に年6回、定期的に開催し、活発な意見交換が行われているが、今後はさらに、参加委員の協力を得て、地域との信頼関係を構築し、地域福祉の拠点として、地域から頼られるグループホームを目指していく。	地域の認知症高齢者の介護相談、独居老人や老々介護の方の健康相談や安否確認等を、地域の方と協力して実施したり、地域の危険個所を探索し、危険個所マップを作製する等、地域の安全対策に取組む、地域に対しての社会貢献に取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	管理者を中心に、職員一人ひとりが利用者本位の介護の実践に取り組んでいるが、これからのグループホームを考える時、職員の確保と質の向上が安定した運営に繋がることから、若手の職員の介護技術の向上と、意識の高揚を目指していく。	時代に合わせたグループホームを目指し、他グループホームの管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員間で勉強会を開く等して、職員の意識改革と意欲に繋がる取り組みを実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。